

氏名 高橋 晃(TAKAHASHI, Akira)

所属 薬学部薬学科

職種 講師

生年 1970年

[履歴]

[学歴]

平成7年3月 東北学院大学法学部法律学科卒業

平成9年3月 東北学院大学大学院法学研究科法律学専攻博士前期課程修了

平成23年3月 東北大学大学院医学系研究科医科学専攻博士課程修了

[学位]

平成23年3月 医学博士 東北大学

[職歴]

令和3年4月 青森大学薬学部講師

[受賞]

特記事項なし

[所属学会]

日本老年医学会

[教育活動]

[担当科目]

薬学への招待、医療倫理、薬事関係法規・制度Ⅰ、薬倫理学、日本国憲法

[卒業研究指導]

2025年度 4名

[ゼミ指導]

部担任制で1~3学年各1名を指導

[教育指導に関する特記事項]

薬学への招待、医療倫理及び薬倫理学において、アクティブラーニングの取り組みとして、スマートグループディスカッションを実施し、医療倫理及び薬倫理学においては、さらに、グループ発表の機会を設けている。

[研究活動]

[研究テーマ]

(1) 医療行為の同意に関する研究

(2) 医療事故・医療過誤に関する研究

[著書、論文、総説]

[著書]

医療安全用語事典 (分担執筆, エルゼビア・ジャパン) 2004.

担当用語: 共同不法行為(p37), 業務上過失致死傷(p38), 立証責任(p107)

[論文]

1. 教育の自由に関する一考察. 東北学院大学・法学研究年誌第 8 号, 36-88, 1997.
2. 成年後見制度における医療行為の同意に関する研究. 高橋 晃, 岩崎 鋼, 八重 横伸生, 日本老年医学会雑誌47巻6号, 617~621, 2010.
3. 新型コロナワクチン接種における本人の同意取得に困難が伴う事例に関するアンケート調査
青森大学付属総合研究所紀要 Vol.25, No.2, 1-6, March, 2024

[学会発表]

1. 非配偶者間体外受精と生まれてくる子供の利益. 第 49 回東北公衆衛生学会, 2000.
2. 院内感染事例における過失の認定過程——最近の民事判例からの検討——. 第 38 回宮城県公衆衛生学会, 2002.
3. 院内感染事例に関する最近の民事事例の傾向について. 第 52 回東北公衆衛生学会, 2003.
4. 院内感染事例に関する民事判例の傾向——医療従事者が注意すべき事項に関する法的視点からの考察——. 第 53 回東北公衆衛生学会, 2004.

[その他の活動]

[公開講座、講演、セミナー]

- 青森市民大学・大学院出張講義：沖館市民センター（2022 年 6 月）
青森市民大学・大学院出張講義：横内市民センター（2023 年 6 月）
青森市民大学・大学院出張講義：西部市民センター（2023 年 6 月）
青森市民大学・大学院出張講義：中央市民センター（2024 年 6 月）
高等学校出張講義：青森県立六ヶ所高等学校（2024 年 7 月）
青森市民大学・大学院出張講義：油川市民センター（2024 年 10 月）

[学内各種委員]

- 学修支援センター員（2022 年 4 月～）
青森大学知的財産審査委員会（2021 年 4 月～）
ハラスメント防止対策委員会（2021 年 4 月～）
薬学部倫理委員会（2022 年 4 月～）
青森大学医の倫理委員会（2021 年 4 月～）
教務委員会（2021 年 4 月～）
共用試験関連（OSCE 運営委員会）（2024 年 4 月～）
学生委員会（2022 年 4 月～）